

令和5年度 自治基本条例推進委員会 議事録

日時	令和5年5月19日（金）午後1時30分から3時30分
会場	焼津市役所本庁舎 会議室2B
出席委員（9人）	松下委員長（オンライン）、小長谷委員、奥山委員、吉田委員、中野委員、藤ヶ谷委員、北島委員、関委員、向坂委員
欠席委員（1人）	保科委員
事務局出席者（6人）	伊東部長、櫻井課長、緒方主幹、宮澤主査、岡村主任主事、大石主事
傍聴者	なし
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 副市長挨拶 4 自己紹介 5 正副委員長選出 6 ミニ講話 7 第4期自治基本条例推進委員会の振り返りと第5期自治基本条例推進委員会の活動について 8 その他

発言者	発言内容
櫻井課長	<p>本日は大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。只今から、令和5年度第1回焼津市自治基本条例推進委員会を開催します。私は、本日司会を務めさせていただきます。市民協働課長の櫻井です。よろしくお願いいたします。なお、本日、委員の保科様は欠席でございます。</p> <p>本日は、委員改選後初めての会議となりますので、会に先立ちまして、委員の委嘱状の交付を行わせていただきます。市長が公務により欠席となるため、下山副市長より委嘱状を交付させていただきます。それでは、下山副市長よろしくお願いいたします。</p>
下山副市長	（辞令交付）
櫻井課長	<p>今年度、当推進会議は10名の委員で行ってまいります。委員の皆様には様々なお立場からご意見をいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、下山副市長よりご挨拶申し上げます。</p>
下山副市長	（挨拶）
全員	（自己紹介）
櫻井課長	自治基本条例推進委員会規則第5条に基づきまして、第5期の委員長の選出をお諮りいたします。委員長は委員の互選により定めることとなっております。ご意見などございましたら、ご発言をお願いします。
小長谷委員	多くの自治体の自治基本条例の策定に関わっていて豊富な経験をお持ちの松下様がよろしいのではないかと推薦いたします。
推進委員	異議なし。
櫻井課長	<p>続きまして、副委員長につきましても、規則第5条により委員の互選により定めることとなっております。副委員長の選任についてご審議をお願いします。ご意見などございましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>ご意見がないようですので、松下委員長に指名していただきたいと思います。</p>
松下委員長	関委員に副委員長をお願いしたいと思います。
推進委員	異議なし。

櫻井課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は第1回目の委員会ですので今年度の自治基本条例推進委員会の活動について、「自治基本条例の意義と推進委員会の役割」をテーマに、松下委員長のほうから講話をいただきたいと思います。</p>
松下委員長	ミニ講和～自治基本条例の意義と推進委員会の役割～（松下啓一氏）
櫻井課長	それでは、第4期自治基本条例推進委員会の振り返りと第5期焼津市自治基本条例の活動について、事務局よりご説明させていただきます。
緒方主幹	<p>第4期委員会の振り返りについて、自治基本条例第30条により、前回の見直しから4年目を迎えた令和4年10月までに見直しを実施し、焼津市自治基本条例の運用状況の点検および見直しに関する提言書を市長に提出いたしました。また、第5期への受け渡し事項として、今年度、まちづくり市民集会在10回目を迎え、また、自治基本条例につきましても、令和6年10月に10年の節目になるということから、市民集会及び推進委員会について、さらにステップアップを図っていきたいということで、今後の取り組みの方向性について、第4期委員の皆様と協議をしました。元々、市民集会の位置づけはみんな意見を言い合うということが目的で、何かを実現、具体化しようという制度ではないというところがスタートなのですが、できる範囲で具体化していくことを考えて仕組みを作っていくのもいいのではという意見が出ました。昨年度の市民集会で出た例として主なキーワードは、地域の中高生と高齢者との交流、地域をまとめるキーマンが必要、交流の場づくり、SNSを使った情報発信などです。</p> <p>推進委員会の意見として、自治会単位のLINEグループの作成は災害時に役立つというアイデア実現、市民集会で意見を市民の方に投げかけて企画書を募集する、ミニ市民集会の実施などが出ました。市民集会で出た意見の中で、仕組みとしては、居場所づくりであったり、情報発信のことが主な意見として出ておりました。</p> <p>ただ、今挙げたことはやれそうなことですが、具体的に何をやったらそれに繋がるのか、またそれを後押しする人、実現する人は誰なのかということも、この5期委員会では議論していただきたいと思っております。また、条例10周年に向けて何をしていくか、市民集会のあり方について、推進委員会としてどういう方向づけていくのかという点についてもご意見いただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
櫻井課長	只今の説明について、ご意見がございましたらお願いします。
関副委員長	市民集会の市長へ1ペーパーで報告した内容を委員で情報共有必要。
事務局	新規委員に送付する。
奥山委員	市民集会是検討段階であり、実行・実現は、別の組織（委員会）が必要ではないか。実行委員会がどこまでやるか位置づけを決めた方がいい。
松下委員長	実行する組織はあってもよいが、テーマによって手法が変わるため、まずは何をやるか決める。それをやれる相応しい人がやるべきである。
奥山委員	実行委員会はあってもよいが、まずは何をやるか決める必要がある。
北島委員	委員も他の方も入るようなプロジェクトチームというものか。
松下委員長	そうである。まずは小さなことからやっていく。
北島委員	市民集会是話し合いの場という位置づけではなくなるということか。
松下委員長	位置づけは残る。話すことが大事でワールドカフェ形式を楽しんでいる人もいる。
関副委員長	<p>コロナ禍でウェルカムドリンクはなくなったが、状況により復活してもよい。</p> <p>対話の中で出てきた意見で実現できそうなものはプロジェクトチーム等他の得意分野の人も入れ具体化、実現していく。</p>
松下委員長	やりたい人、やってみたい人たちが参加できる場が大事である。
櫻井課長	来年度自治基本条例は、10周年を迎え、内容によっては予算要求が必要になる。それによっては第2回推進委員会の開催時期の検討が必要。
松下委員長	10周年記念事業の予算があってもよい。それには推進委員での後押しが必要。
櫻井課長	次回の推進委員会は予算要求に間に合う時期で開催する。

関副委員長	それまでに決められることは決めた方がよいため、本日の会議の残り時間で皆さんから具体的なアイデアを出してもらいたい。
北島委員	推進委員の方向性はどうか。
松下委員長	実現性の高いもの、テーマを決める。それをみんなで考えていく。
奥山委員	市民集会10回目と併せてもいいか。
松下委員長	条例10周年または市民集会10回どちらでもよい。焼津の文化を示す式典。
櫻井課長	何か意見及びアイデアはある人はいるか。
北島委員	予算は不明だが、10周年の広告をやったらどうか。
櫻井課長	どの範囲までやるか。
北島委員	市民向け。
松下委員長	市民にPRしてもらうことや市民向け。
北島委員	市内に周知すれば、市外へも伝わるため市内だけでもよい。
奥山委員	(条例施行日) 焼津市民の日にしてもよいのでは。
関副委員長	牧之原市10周年では、高校性に司会をしてもらった。高校生にも参加を促す。
向坂委員	10周年ロゴを募集し、松下賞をやってはどうか。
松下委員長	ちなみに広告はどんなものがあるか。
櫻井課長	焼津市公式は、LINE、インスタグラム、それ以外は業者に発注。
北島委員	業者へはどのくらいの金額になるか。
櫻井課長	方法によって金額異なる。
松下委員長	櫻井課長は何かあるか。
櫻井課長	形になるものがよい。例えばミニ市民集会を実施し、関係部署も参加してもらう。また、外国人をターゲットにしてもよい。
松下委員長	緒方主幹は何かあるか。
緒方主幹	松下先生の記念講演。
松下委員長	新担当(岡村)何かあるか。
岡村	他市などと連携して実施。
事務局	御宿町などとしてもよい。
松下委員長	中野委員は何かあるか。
中野委員	SNSで発信。LINEを若い子は登録していない。若い子どもの母親世代をターゲットにし、保育士に子どもの対応してもらえれば、参加しやすい。また子ども館(ターントクル)を活用してもどうか。
松下委員長	昨年島田市でLINEを活用し若い世代でグループで話し合いをした。 小長谷委員は何かあるか。
小長谷委員	市民の日はいいと思う。
関副委員長	記念日にロゴマークや若い世代の事業をやるのがよい。 藤ヶ谷委員は何かないか。
藤ヶ谷委員	市民集会の満足度は高いが認知は低いため啓発が大事である。推進委員と実行委員の違いがわからない。どちらが実行するのか、効率的にやるべきである。
松下委員長	市民集会は実行委員会、推進委員会は補助で幅広い視野が必要だが、現在は実施しているものが市民集会のみのためわかりにくい。本来は明確にわけるべきだが、それが課題でもある。 奥山委員は何かあるか。
奥山委員	記念日セレモニーがよい。
松下委員長	吉田委員は何かあるか。
吉田委員	まだ、初回でイメージがついていない。市民に対するPR、理解が必要である。
松下委員長	向坂委員は何かあるか。
向坂委員	発表者の10年の記録の振り返りを写真で展示。
藤ヶ谷委員	女性に目を向けること、そういう活動者を集めることもさらに重要。

松下委員長	今後そういう社会に移行していく。 北島委員は何かあるか。
北島委員	市民自治の認知が足りない。子供には教育の場があるが、大人には現状少ない。
松下委員長	講演よりも子供や女性などが自分事で話し合える場で焼津らしいものが必要。それは一つでなく、複数あってもよい。
関副委員長	女性の活躍の場をスポットしていき、解消していかなければならない。
松下委員長	女性だけに限定しないで、高校生、外国人も入れて多様性を重視。そのうえでやれる人がやるのがよい。
中野委員	男女の固定観念に捉われている。
松下委員長	実施することを話し合い実施して、それを提言する。本日の内容を櫻井課長まとめてください。
櫻井課長	まとめる。
松下委員長	形にしてもらった方がイメージが湧く。今回は想定よりも進捗した。
緒方主幹	(次回の推進委員会について日程調整)
櫻井課長	それでは、これをもちまして第1回自治基本条例推進委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。